

「東広島医療センターにおける大腿骨近位部骨折の 再骨折の現状と今後の課題」について

研究の概要

本研究は、東広島医療センターにおける大腿骨近位部骨折の再骨折の現状と今後の課題について把握するために、電子カルテより大腿骨近位部骨折のデータ収集をおこない、再骨折患者の現状を調査します

研究の目的

大腿骨近位部骨折の年齢、性別、基礎疾患、手術前後の骨粗鬆症診断の有無、骨粗鬆症治療の有無、骨密度計測の有無と骨密度結果、大腿骨近位部骨折の再骨折の有無、治療薬剤の有無を把握し、今後当院における骨粗鬆症性骨折の再骨折予防について対策を検討するのが目的です。

本研究への参加について

参加は自由で、データを登録されたくない場合は、いつでも参加を取りやめることができます。不参加や登録を拒否されたり、閲覧・修正を希望されたりすることで、日常診療において不利益な対応を受けることは一切ございません。

調査する内容

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記しておこないます。
2013年6月1日～2019年6月30日までに大腿骨骨折手術で入院されました患者さんを対象とし、個人が特定出来る情報は転記しません。

対象となる患者さんの利益・不利益

使用する情報からは患者さんを直接同定できる個人情報には削除します。個人を特定する情報は調査しないので、個人情報が漏洩する心配はありません。

研究期間

倫理審査承認日：2020年5月13日～2021年10月31日

研究責任者

国立病院機構東広島医療センター 看護部 骨粗鬆症マネージャー 山中 祐二

問い合わせ先

国立病院機構東広島医療センター
〒739-0041 東広島市西条町寺家 513 電話： 082-423-2176（代表）
国立病院機構東広島医療センター 看護部 骨粗鬆症マネージャー 山中 祐二